|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第１章　近代化と私たち  **３節　国民国家と明治維新**  **４ 明治維新と東アジアの国際関係**  （教科書 p.66～68） |  |

■学習課題

明治維新は日本社会をどのようにかえたのだろうか。また，それはどのような国際環境のなかでおきたのだろうか。

●**明治日本の諸改革〔p.66〕**

明治維新

・1867年，〔　　　　　　　　　　　　〕

→天皇を中心とした新政府が樹立

…従来の政治制度はほぼ廃止に

…新政府は全国に支配権を確立

明治政府の改革

・1871年，戸籍法公布（〔　　　　　　　　〕の解体）

・1871年，〔　　　　　　　　〕

→政府に権力が集中

新しい制度

・身分制度の解体→武士身分の消滅

→1873年，徴兵制度の導入（〔　　　　　　　　〕）

→武士の家禄の廃止

・地租改正

…江戸時代の年貢村請制にかわる，〔　　　　　　〕にもとづく徴税のしくみ

国際関係

・主権国家体制への参入をめざす

→1871年，〔　　　　　　　　〕を代表とする使節団を欧米に派遣

…不平等条約の改正の交渉は失敗

…視察により〔　　　　　　〕モデルの近代化への動きが強まる

生活の変化

・欧米思想を学んだ知識人たちによる〔　　　　　　〕や〔　　　　　　〕の発刊

・洋風の建築，洋服の着用

・〔　　　　　　　〕教育の義務化

●**東アジアの国際関係〔p.67〕**

日清修好条規

・1871年，〔　　　　　　　　　　〕が締結

…国交と通商関係を開く対等な条約

【清】

・欧米諸国と通商を行いながら，周辺国とは冊封・朝貢関係を維持

【日本】

・清中心の国際秩序におさまらない外交

…琉球と清との冊封関係断絶をはかる

→1879年，〔　　　　　　　　〕

台湾出兵

・琉球の島民が台湾の住民に殺害される

→1874年，日本政府は台湾に軍隊を派遣（〔　　　　　　　　〕）

・清との戦争を避けるため，大久保利通らが和平交渉を行う

朝鮮半島と日清のかかわり

・1875年，日本政府は軍艦を朝鮮の江華島に送り戦闘をおこす（江華島事件）

→1876年，〔　　　　　　　　　　〕により朝鮮が開国（朝鮮に不利な条約）

・1882年，朝鮮の兵士による日本公使館襲撃事件（〔　　　　　　　　〕）

・1884年，朝鮮の親日派によるクーデタ失敗（〔　　　　　　　　〕）

→日清両国が〔　　　　　　　　〕を結び，事態を収束

清の冊封・朝貢関係

・清と冊封・朝貢関係にあるベトナムにフランスの勢力がおよぶ

→〔　　　　　　　　〕後，ベトナムはフランスの保護国となり，のち  
〔　　　　　　　　　　　　　　〕の一部に

・清は琉球，ベトナムとの冊封・朝貢関係を失う

memo